



生活クラブ

— たすけあいカタログ —

もっと、たすけあう幸せ。

2月
No.
61

ハグくみHPには

ハグみちゃんの部屋

ハグみちゃんの部屋があります！

ハグくみトップページ

生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-24-20 TEL03-5285-1865

[CO・OP共済ニュース]

子どもの病気

ケガの保障

《たすけあい》

ジュニア20コースが

おすすめ！

風邪の季節の到来です。子どもが肺炎やインフルエンザなどにかかることもあります。子どもはウイルスや細菌等の感染症として肺炎を発症することが多いです。日本は医療環境などが整備されていますので重篤化するケースは少ないですが、なかには入院を余儀なくされることもあり、看病をする家族などにもさまざまな影響が出てきます。

J1000円コースなら

入院1日目から日額6,000円の保障

- 1日目から360日分入院保障があって安心です。

子どもに多い病気での平均入院日数は1週間程度

お支払い件数の多い病気(上位3位)		
	原因	平均入院日数
1	肺炎	6.7日
2	気管支炎	6.2日
3	ぜんそく	6.4日

2016年3月21日～2017年3月20日《たすけあい》共済金支払いデータ

子どもが入院した場合、思いがけない出費がこんなに！



看病のための交通費



付き添うパパやママの収入の減少



差額ベッド代

ケガ通院は1日目から日額2,000円の保障

- 子どもの場合は共済金の支払いの約73.4%がケガ通院※です。

※2016年3月21日～2017年3月20日《たすけあい》共済金支払いデータ

ジュニア20コースは日常よくあるケガも通院1日目から保障します

乳幼児	乳幼児	小学生	中学生
アイロンなどにさわってしまっやけど	家の中で転倒して、頭を打って打撲	美術の時間に彫刻刀で手を切った	部活動をしていて、ころんですりむいた

プラス情報

医療費の自己負担が0円でも請求できる場合があります。

自治体による「乳幼児医療費助成制度」(一定年齢までの乳幼児の医療費を助成)で自己負担がない時でも、ご請求いただける場合があります。

※2018年5月現在の基準です。※乳幼児医療費助成制度は市区町村によって助成の内容が異なります。詳しくは、お住まいの自治体にお問い合わせください。

通院中や、お薬を飲んでいてもご加入いただける場合があります。

告知事項に該当しても、その理由が条件付加入制度にある、特定の傷病を原因としている場合にはJ1000円コース条件付加入制度で加入申し込みできます。

通院中や、お薬を飲んでいる方も告知事項Aに該当しなければ加入申し込みできる、加入条件がゆるやかなJ1900円コースもあります。

※詳細はお問い合わせください。

ジュニア20コース

加入できる年齢(発効日時点) / 性別	0歳～満19歳 / 男性・女性
保障期間	満20歳の満期日まで
コース名(月掛金)	J1000円コース
お支払い内容	(月掛金 1,000円)
病気入院・事故(ケガ)入院	日額 6,000円 (1日目から360日分)
事故(ケガ)通院 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円

※保障内容は抜粋です。詳しい内容は加入申込書付宣伝物をご覧ください。

CO・OP共済 組合員の声から

0才で加入したが、ケガをすることも多く、加入して安心です。子どもの医療費は自治体による助成がありますが通院にともなうものにも出費があり、加入して本当に良かったです。

生活クラブ生協(千葉) 女性 30代

子どもはスポーツをしているのでケガがつきもの。手続きが簡単でわかりやすく支払いも早いので大変助かります。請求忘れ※であっても請求出来て助かりました。

生活クラブ大阪 女性 50代

※請求に必要な書類を揃えていただければ共済事由から3年以内は請求できます。

●組合員からいただいたお話を掲載しています。お支払いの内容や共済金請求書類につきましては、ご契約内容・ご請求内容によって異なります。

K-73492-1901

お問い合わせ

CO・OP共済《たすけあい》《あいぷらす》はこちら



0120-345-712

受付時間
9:00～18:00(月～金)
9:00～17:00(祝日)

契約引受団体 / 生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会
日本コープ共済生活協同組合連合会

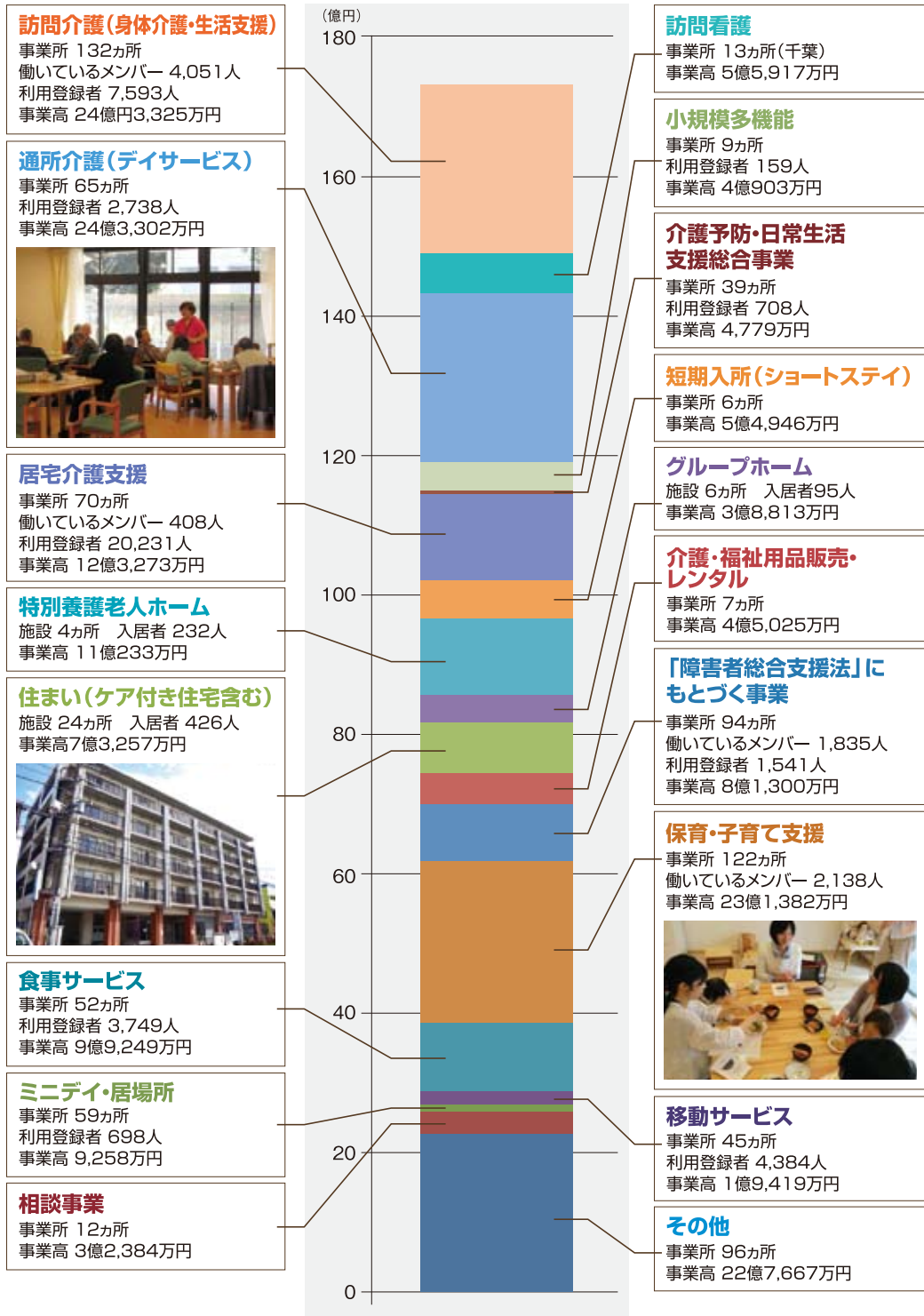
CO・OP共済に加入するには…
出資金を支払い生活クラブ共済連合会生協の組合員になることが必要です。
加入の生協・地域によって出資金額や積立金額が異なります。

福祉事業 データ報告

ひろがる! 生活クラブグループの福祉事業

生活クラブの福祉は組合員どうしのたすけあいから始まりました。社会の課題を先取りし、「年をとっても、障がいがあっても、住み慣れたまちで暮らし続けたい」「自分たちが望む福祉は自分たちでつくろう」などの思いで、手づくりの地域福祉をめざして活動しています。地域の状況やニーズに応じた様々なしくみをつくり出し、生活クラブグループの単協、社会福祉法人、ワークス・コレクティブ、NPO法人、任意団体や、生活クラブ共済連の福祉事業推進会議に参加している提携生産者などが各地で活動しています。

生活クラブ運動グループ 福祉関連事業集計（2017年度）



事業所数 **856**カ所

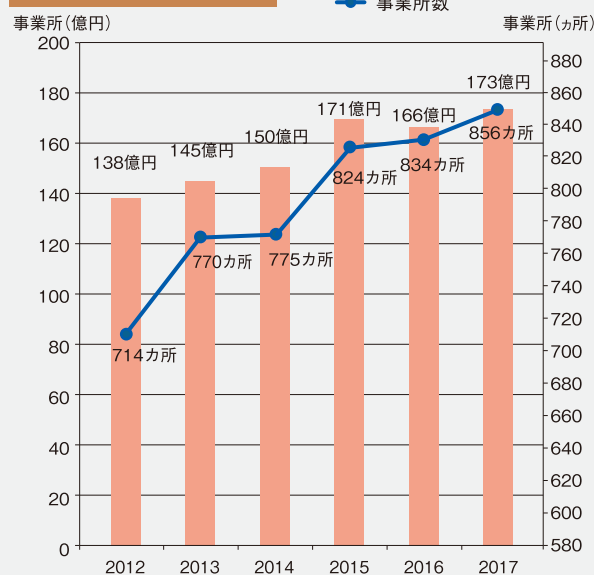
利用者 **73,390**人

働くメンバー **15,653**人

事業高 **173億4,430**万円

2017年度
生活クラブ運動グループ
の福祉関連事業は

事業高の6年間推移

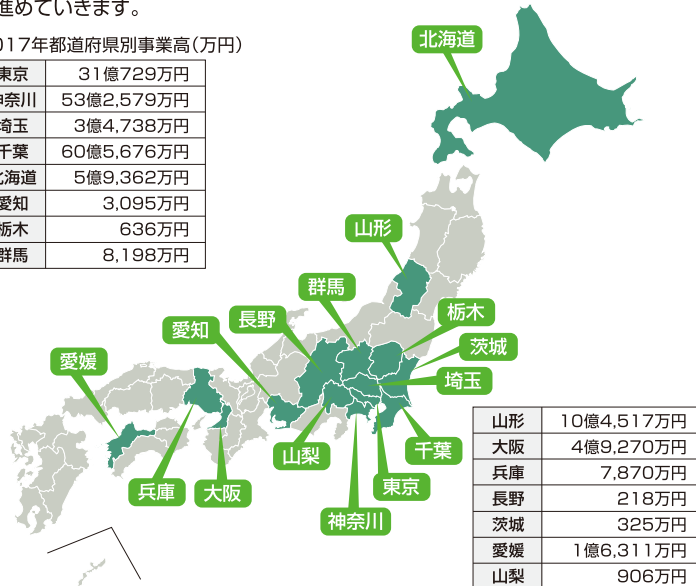


地域に根ざす福祉事業や活動にチャレンジ

生活クラブ運動グループの福祉事業は15都道府県で展開されています。新しい福祉事業のチャレンジを応援する「生活クラブ福祉事業基金*1」や各単協の福祉政策の推進を支援する「福祉たすけあい活動支援制度*2」を活用し、地域福祉の充実を進めていきます。

2017年度都道府県別事業高(万円)

東京	31億729万円
神奈川	53億2,579万円
埼玉	3億4,738万円
千葉	60億5,676万円
北海道	5億9,362万円
愛知	3,095万円
栃木	636万円
群馬	8,198万円



*1 割戻金(CO-OP共済「たすけあい」の剰余金の一部)の寄付を主財源。*2 教育事業繰越金(共済の剰余金の一部)を財源。

音訳CD 希望者受付



「生活と自治」の音訳CDをお届けします 情報のバリアフリーをめざしたリーディングサービス

組合員が共同購入する『生活と自治』の内容を読み上げたCD(通常版またはプレクストーク仕様版のいずれか)を目の不自由な方や高齢(加齢)により小さな文字を読むことに不自由を感じている方に毎月郵送するリーディングサービス。

2010年に生活クラブ東京が情報のバリアフリー化をめざし、組合員どうしのたすけあい『エコロ』*の一環として始め、2016年4月から全国の生活クラブの組合員が利用できるようになっています。利用者からは「聞きやすい声で、写真や細かい紙面構成まで音訳されています。『生活と自治』の内容は社会、政治などの一般では報道されないものが多く興味深いです」と好評です。

身近にリーディングサービスを必要としている組合員またはご家族がいらっしゃいましたら、所属の生活クラブにお問合せください。

※単協によって名称は異なります



リーディングサービスは音訳ボランティアグループ『Yomu²(よむよむ)』のメンバーが組合員のボランティア活動として担っています。音訳作業には録音・校正、編集があります。録音は各号の音訳分担箇所をメンバーがそれぞれ自宅で行なっています。音声データを聞きながら、誤読やアクセントなどを確認・校正作業し、編集することによってお届けする音訳CDが完成します。

Yomu²では、すでに音訳活動に携わっている方、音訳の活動に興味のある方を募集しています。「独自の音訳マニュアルもあります。音訳の技術を伝えながら、一緒に活動しませんか?」と参加を呼びかけています。ご関心のある方は、所属の生活クラブにお問合せください。

音訳協力者 募集



Yomu²



地震 風水害 から マイホームを守りたい。



自然災害が多発しています！

近年、地震や台風などの自然災害が増えていると感じませんか？

2018年に入って今までにないほどの自然災害が日本を襲っています。6月には大阪府北部でマグニチュード6.1の地震が起きました。西日本では記録的な豪雨が発生し、広島県・岡山県をはじめ甚大な被害が出ました。

8月から9月にかけては立て続けに台風が発生し、関西国際空港が高潮被害を受けるなど、近畿地方を中心に大きな被害をもたらしました。また、北海道ではマグニチュード6.7の地震が起き、停電や土砂くずれ、液状化現象などが発生しました。

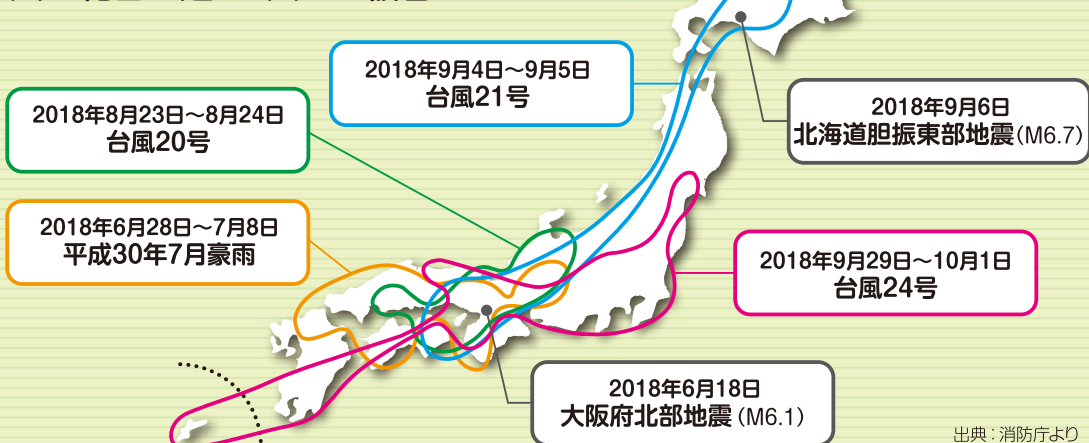
自然災害はいつ、どこで起こるかわかりません。あなたの住まいを自然災害から守るためには、家具の固定や警報・注意報のこまめなチェックなど、ご自宅のできる対策といっしょに住まいの保障に入っておくと安心です。

自然災害に備えよう！

自然災害そのものを避けることはできません。だからこそ、地震・自然災害の保障をしっかりと備える必要があります。火災の保障に加入していれば、自然災害による被害でも保障されるとお考えの方もいらっしゃると思いますが、風水害の被害は保障が少なく、地震の被害は保障されません。

地震や風水害などの自然災害へ備えるために、「CO・OP火災共済」にプラスしてご加入いただける、「自然災害共済」へのご加入をおすすめします。

2018年は豪雨・台風・地震が
広い範囲で起き、大きな被害になっています。



CO・OP火災共済・自然災害共済のお問い合わせは

お電話で

CO・OP火災共済コールセンター・事故受付センター

0120-6031-43

資料請求・現在のご契約に関するお問い合わせ

ご利用番号 [1] をご選択ください。

9:00～18:00 (月曜日～土曜日 祝日営業・年末年始除く)

共済金のご請求に関するお問い合わせ

ご利用番号 [0] をご選択ください。24時間365日受付

スマホでラクラク！

いつでも、資料請求・お見積もり！



QRコードをスマホで
読み込んでアクセス！

「資料請求はコチラ」または
「掛金試算はコチラ」をクリック！

d90d18062

全労済のマイカー共済は制度改定を行いました。

ZENROSAL NEWS
7318A060



衝突被害軽減ブレーキ(AEB)割引

衝突被害軽減ブレーキ(AEB)が搭載されている乗用車は**9%割引**になります。
(普通・小型乗用車は、型式の発売年月から3年以内適用)



マイカー共済ロードサービスを拡充！全車両が適用になりました！

24時間体制で
解決します



自走不能な場合の
レッカーけん引
または積載車による搬送



現地に実施可能な
30分以内の
路上クイックサービス



燃料切れ時の
ガソリンなど
お届けサービス

2019年1月～3月にお見積もり・ご成約いただいた方に **バリティをお渡ししております。**
詳しいお問い合わせについては、裏面をご覧ください

庄内暮らし プロジェクト

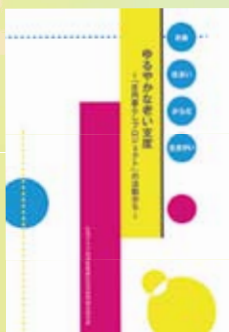
「老い支度を考える一ゆるやかな連絡会」 のまとめ冊子ができました

「老い支度を考える一ゆるやかな連絡会」は、老い支度に関心のある組合員(主に首都圏)が学び、話し合う場として、さまざまなテーマで専門家によるセミナーを開催してきました。2017年から2年間で延べ1000名以上が申し込み、40代から80代までの約800名が参加しました。

これまでのセミナー内容などをもとに「老い支度」について考えるためのポイントを「お金」「住まい」「からだ」「生きがい」という4つのテーマにそってまとめた冊子「ゆるやかな老い支度～庄内暮らしプロジェクトの活動から～」ができました。生活クラブが新たなチャレンジとして取り組んでいる「庄内のFEC自給ネット

ワーク構想」、山形県酒田市との連携事業「庄内の福祉コミュニティ構想」などについても記載、酒田市への移住に関する情報、酒田市の暮らし・歴史なども紹介しています。

「〇歳だから遅い」「〇歳だから早い」は老い支度にはありません。気がついたときが適齢期です。自分らしい老い支度をゆるやかに進めるために、まずは行動しませんか。この冊子はその一助になることを願っています。



庄内福祉コミュニティ構想 酒田市生涯活躍のまち構想拠点が決定

酒田市で生活クラブとともにすすめている参加型コミュニティづくりの拠点が、酒田市街地中心部にあり、観光拠点としても有名な山居倉庫前にある元消防署跡地に決定しました。

新しいコミュニティの構想拠点は、「まちなか」の利点を生かして人や食の交流を活性化させ、新たな雇用や若い世代の集まりも期待できます。高齢者住宅だけでなく、「多世代・ごちゃまぜ」のまちを目指します。多様な暮らし方や関わり方を選択できる可能性があります。



冊子を希望する方、下記までご連絡ください。先着100名、2019年3月1日までの限定です。

申込先/Tel: 03-5285-1865 月～金(祝日除く)10時～17時まで 担当/生活クラブ共済連 小泉まで

